

【2024年度国内債資金充当レポーティング】

(単位：百万円)		サステナビリティボンド					累計額	割合
回号	発行日	第1回	第2回	第3回	第4・5回	第6回		
		2020.1.27	2021.1.25	2022.1.21	2023.1.20	2024.1.19		
適格クライテリア	①鉄道事業	29,889	26,052		2,195	9,956	68,092	51%
	②再生可能エネルギー		3,837				3,837	3%
	③グリーンビルディング			20,000	32,688		52,688	39%
	④病院			9,121			9,121	7%
	未充当額			768			768	1%
	合計	29,889	29,889	29,889	34,883	9,956	134,506	100%
	(内、リファイナンス金額)		(3,837)	(20,000)	(32,688)	(9,532)		

未充当残高については現金又は現金同等物にて管理しています。

【2024年度国内債インパクトレポーティング】(※1)

適格クライテリア	適格プロジェクト	第1回 サステナビリティ ボンド	第2回 サステナビリティ ボンド	第3回 サステナビリティ ボンド	第4・5回 サステナビリティ ボンド	第6回 サステナビリティ ボンド	ESG種類	レポーティング項目	実績	
①鉄道事業	EV-E801系	○					共通	車両投入実績	投入済：6編成	
							Green	CO ₂ 排出量削減効果（従来の気動車との比較）	60%削減	
								排気ガス削減効果（従来の気動車との比較）	100%削減	
							Social	騒音低減効果（従来の気動車との比較）	30dB低減	
									バリアフリーレ設置車両（編成）数	6編成
	E235系	○	○			○	○	共通	車両投入実績	投入済：83編成
								Green	V V V F インバータ等による省エネ効果（従来品との性能比較）	19.8%省エネ化（※2）
									LED照明による省エネ効果（従来の蛍光灯との性能比較）	40%省エネ化
								Social	非常用電源装置積載車両（編成）数	43編成
									車いすスペース設置車両（編成）数	83編成
								バリアフリーレ設置車両（編成）数	83編成	
	鉄道設備（運動装置更新）					○	Green	鉄道設備の維持、改修、更新の内容（2021年度）	運動装置更新 使用開始：19駅	
②再生可能エネルギー	太陽電池発電所 (京葉車両センター太陽電池発電所、 内原第一・第二太陽電池発電所、 青森石江太陽電池発電所)		○				Green	2023年度発電量 (kWh) /累計発電量 (kWh)	7,788,794kWh/ 28,984,334kWh	
								2023年度CO ₂ 排出量の削減効果/累計CO ₂ 排出量の削減効果	2,991t-CO ₂ / 12,070t-CO ₂	
	JR秋田下浜風力発電所		○					Green	2023年度発電量 (kWh) /累計発電量 (kWh)	5,057,420kWh/ 17,651,810kWh
									2023年度CO ₂ 排出量の削減効果/累計CO ₂ 排出量の削減効果	1,947t-CO ₂ / 8,123t-CO ₂
③グリーンビルディング	KAWASAKI DELTA (※3)			○	○		Green	取得した環境認証の種類/ランク：CASBEE-建築（新築）	Sランク（2024年4月有効期限切れ）	
								取得した環境認証の種類/ランク：BELS認証	星5つ（ZEB Ready/ ZEB Oriented）	
								一次エネルギー使用量：電力（2023/10～2024/9）	11,695,620kWh	
								一次エネルギー使用量：ガス（2023/10～2024/9）	1,772,980m ³	
								CO ₂ 排出量（2023/10～2024/9）	7,453t-CO ₂	
								Social	歩行者ネットワークの設備概要：敷地内公開空地（1階含む）	4,956m ²
④病院	JR東京総合病院の建て替え（※4）			○			Social	延べ患者数（入院・外来）	—	
								救急車受入れ台数	—	
								新病棟、e棟に含まれる設備	e棟：人間ドックセンター、JR東京総合病院 高等看護学園	
								JR東京総合病院高等看護学園の看護師国家試験合格率	—	

※1 2022年、2024年公表のサステナビリティファイナンス・フレームワークは、2019年、2020年、2021年公表のサステナビリティボンド・フレームワークとレポーティング項目およびその期間が異なりますが、

資金充当及びインパクトレポーティングにつきましてはレポーティングの継続性に配慮して作成しております。

※2 山手線E235系の場合（走行線区、走行パターンで消費エネルギーは異なる）

※3 物件概要：KAWASAKI DELTA「サステナブルなまちづくりの実践」(jreast.co.jp)（2021年6月25日プレスリリース）

※4 健康管理棟（仮称）は「e棟」として、2024年4月に先行開業しています。また、新病棟（入院棟）は2025年春頃にオープン予定です。建物竣工後レポーティング指標の数値が入手可能となりました段階でレポーティングを開始予定です。

【2024年度外債資金充当レポーティング】

(単位：百万円) (※1)		グリーンボンド・普通社債			累計額	割合
回号		第1回 ユーロ建	第2・3回 ユーロ建	第4回ユーロ建 第1回ポンド建		
	発行日	2023.2.22	2023.9.5	2024.9.4		
適格クライテリア	①グリーン輸送 及び気候変動への対応 (内、OPEX金額)	106,764	157,774	155,672	420,210	78%
	②再生可能エネルギー		16,728	5,141	21,869	4%
	未充当額		30,813	65,657	96,470	18%
合計		106,764	205,315	226,470	538,549	100%
(内、リファイナンス金額)		(91,831)	(117,958)	(160,813)		

未充当残高については現金又は現金同等物にて管理しています。

※1 発行時点の為替レートで円に換算

【2024年度外債インパクトレポーティング】(※2)

適格クライテリア	EUタクソノミー項目	適格プロジェクト	第1回 ユーロ・ユーロ建 グリーンボンド	第2・3回 ユーロ・ユーロ建 グリーンボンド	第4回ユーロ建 第1回ポンド建 グリーンボンド	ESG種類	レポーティング項目	実績
GBP2021 「グリーン輸送」	No.6.1 旅客鉄道輸送（都市間輸送） （※3）	新幹線E7系	○			Green	車両投入実績	投入済：E7系 20編成
		新幹線E5系		○		Green	車両投入実績	投入済：E5系 6編成
		新幹線E8系		○	○	Green	車両投入実績	投入済：E8系 6編成
		在来線E131系		○		Green	車両投入実績	投入済：E131系 35編成
		在来線E235系、E233系		○	○	Green	車両投入実績	投入済：E235系 83編成 E233系 一編成
	No.3.19 「鉄道車両の製造」	新幹線改造(台車モニタリング装置搭載)			○	Green	車両改造実績	改造済：稼働済 37編成
GBP2021 「グリーン輸送」 「気候変動への適応」	No.6.14 鉄道輸送インフラ	鉄道設備 (鉄道のレジリエンス向上及び維持)	○ (新幹線 鉄道設備)	○ (新幹線・在来線 鉄道設備)		Green	鉄道施設災害対策の内容、プロジェクトの進捗	鉄道設備耐震補強 高架橋柱 5,605本
		鉄道設備 (維持、改修、更新のための投資及び費用)			○	Green	鉄道設備の維持、改修、更新の内容（2022年度）	レール交換 341km 架線張替延長 186km
GBP2021 「再生可能エネルギー」	No.4.1 太陽光発電	太陽光発電		○	○	Green	運転開始済み発電所の発電量 (kWh/年) CO ₂ 排出削減効果 (t-CO ₂ /年) (2023年度)	発電量：113,974,821 (kWh/年) CO ₂ 排出削減効果：49,921 (t-CO ₂ /年)
GBP2021 「再生可能エネルギー」	No.4.3 風力発電	風力発電		○	○	Green	運転開始済み発電所の発電量 (kWh/年) CO ₂ 排出削減効果 (t-CO ₂ /年) (2023年度)	発電量：36,589,452 (kWh/年) CO ₂ 排出削減効果：16,026 (t-CO ₂ /年)

※2 2022年、2024年公表のサステナビリティファイナンス・フレームワークは、2019年、2020年、2021年公表のサステナビリティボンド・フレームワークとレポーティング項目およびその期間が異なりますが、資金充当及びインパクトレポーティングにつきましてはレポーティングの継続性に配慮して作成しております。

※3 EUタクソノミーにおける気候変動緩和基準を満たす、直接CO₂排出量がゼロの車両